

「駒澤地理」投稿規程

1. 投稿資格

本誌に投稿できるのは、原則として駒澤大学文学部地理学教室と総合教育研究部自然科学部門の教員（専任教員を優先する）とし、連名の場合は、第1著者を専任教員とする。依頼原稿および特に編集委員会が認めた場合は、この限りではない。

2. 原稿の種類と長さ

原稿の種類は、論文および書評とする。用紙は、いずれもA4判を縦に用いる。論文は、46字×40行のレイアウトを基本とし、原則として刷り上がり30ページ以内とする。書評は、22字×40行（2段組み）のレイアウトを基本とし、原則として刷り上がり6ページ以内とする。

3. 表題・著者名・摘要・キーワード等

論文は、表題の下に著者名を記す。著者名の右肩に*（アスタリスク）を付し、所属を原稿1ページ目の下部欄外に記す。著者名に続いて、英語タイトル、著者名の英語表記、400字程度の日本語摘要、キーワード（日本語と英語）を記す。

書評は、冒頭に本の情報を、原著者名・文献名・出版社・発行年・総ページ数・税別金額の順に示す。評者名は、原稿末尾に（氏名：所属）のように記す。英文目次のために、原著者名の英語表記、文献名の英訳、評者名の英語表記を別紙に記す。

4. 本文の構成と番号

本文は、章・節・項から構成されるものとする。章番号はローマ数字Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、……、節番号は算用数字1., 2., 3., ……、項番号は右片カッコ付き数字1), 2), 3), ……と記す。

5. 注

注を用いる場合は、本文中の当該箇所の右肩に右片カッコ付きで通し番号を付し、本文（謝辞）の後にまとめて、番号を付して注の内容を簡潔に記す。

6. 文献表

文献表は、注の後にまとめて記す。文献表の形式や配列は、原則として最新の「地理学評論原稿執筆要領」の方式に従う。

7. 英文要旨等

文献表に続いて、英語タイトル、著者名の英語表記、200～300ワード程度の英文要旨を付す。

8. 原稿の採否と編集

原稿の採否と編集は、編集委員会で行う。

9. 校正

初校と再校は、原則として著者が行う。三校以降は、編集委員会で行う。

10. 別刷

別刷は、50部を限度に作成することができる。

11. 著作権

本誌に掲載された原稿の著作権は、駒澤大学に帰属する。また、掲載原稿は電子化して公開する。

(2005年1月20日制定)

(2023年5月22日改正)

(2025年1月6日改正)

お知らせ

『駒澤地理』は、以下の駒澤大学図書館のホームページにおいて、1958年発行の第1号よりPDFファイルで全文の閲覧ができます。

駒澤大学図書館ホームページ：<http://www.komazawa-u.ac.jp/facilities/library>